

2020年6月期 決算説明会資料

目次

■ I. 決算概要

決算サマリー	1
グラフでみる当社グループの推移・動向	2
当社グループの事業内容、セグメント売上高	4
事業セグメント、事業内訳の状況	5
2020年6月期 決算のトピックス	6
配当について	7
財務状況	8
2021年6月期連結業績予想	9

■ II. 今後の事業戦略

基本戦略	10
将来目標	11

■ III. Appendix

セグメントごとの納入事例・紹介	12
事業拠点	23
注意事項	24

SECURITIES CODE : 6061

株式会社 **ユニバーサル園芸社**

2020年8月21日

1. 決算概要

決算サマリー

要約連結損益計算書、1株当たり指標

■ 業績は収益改善を背景に増収増益

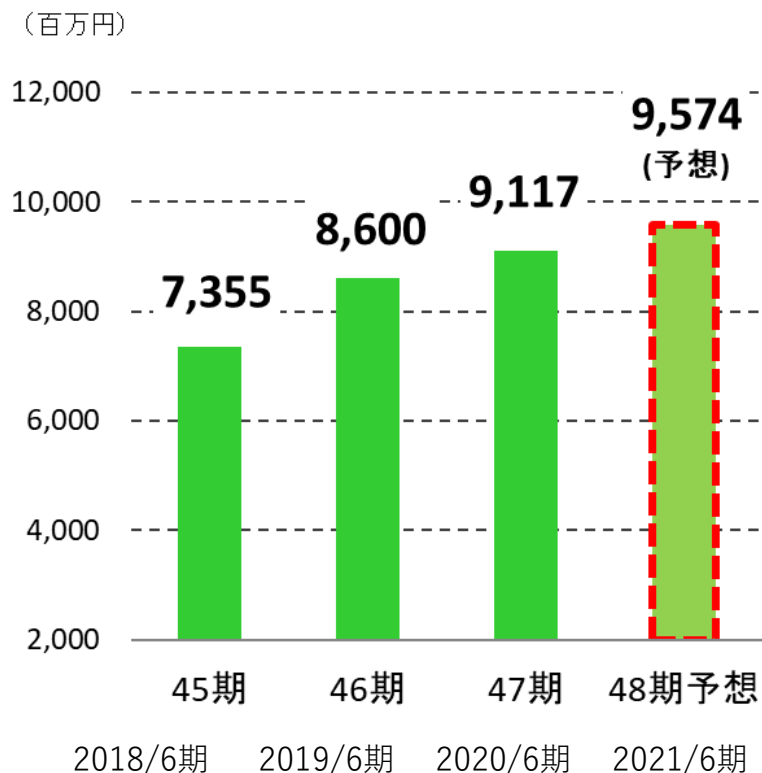
■ 主力事業のグリーン事業において、レンタルグリーンにおける新規顧客の獲得や販売促進のためのマーケティング活動に引き続き注力した結果、増収増益となりました。

(百万円)

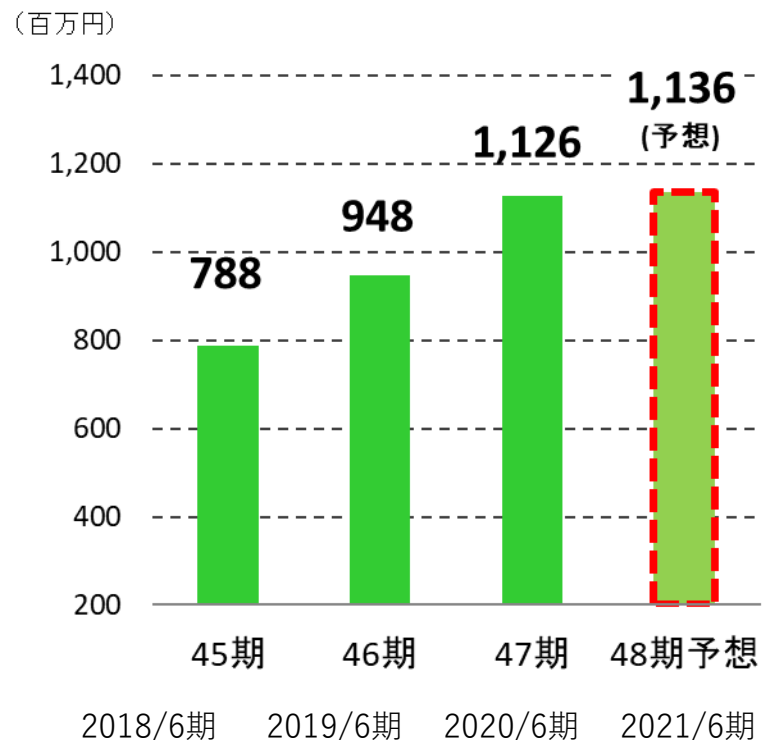
	第46期(2019年6月)		第47期(2020年6月)		
		百分比(%)	百分比(%)	前期比(%)	
売上高	8,600	100.0	9,117	100.0	6.0
営業利益	948	11.0	1,126	12.4	18.8
経常利益	955	11.1	1,162	12.7	21.7
親会社株主に帰属する当期純利益	500	5.8	676	7.4	35.2
1株当たり当期純利益 (円)	104.14		140.84		
1株当たり純資産 (円)	1,431.52		1,539.33		

グラフでみる当社グループの推移・動向

売上高

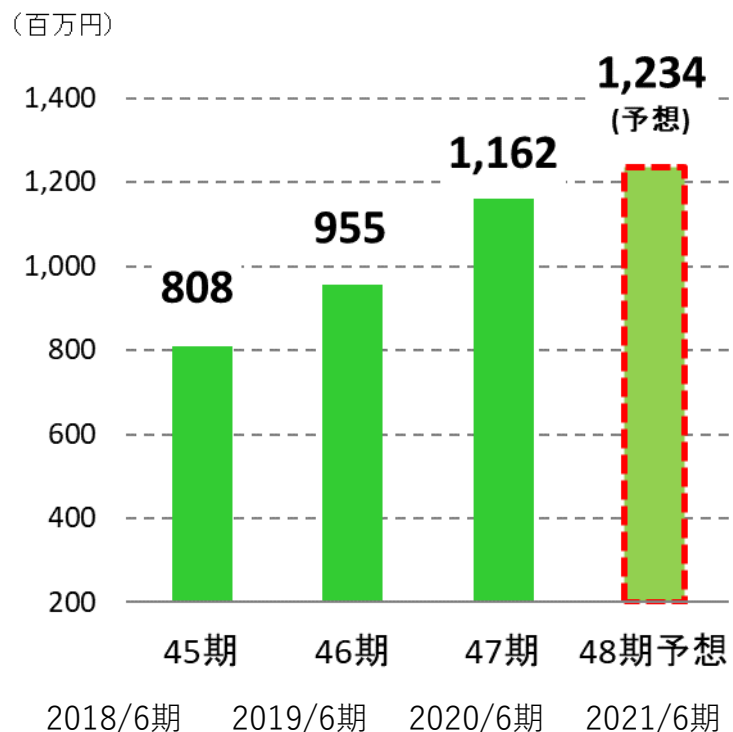


営業利益

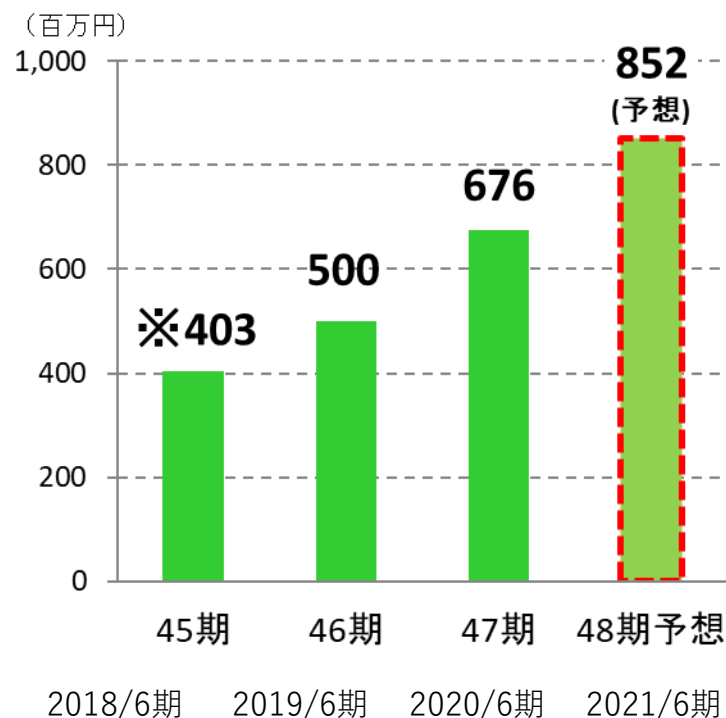


グラフでみる当社グループの推移・動向

経常利益



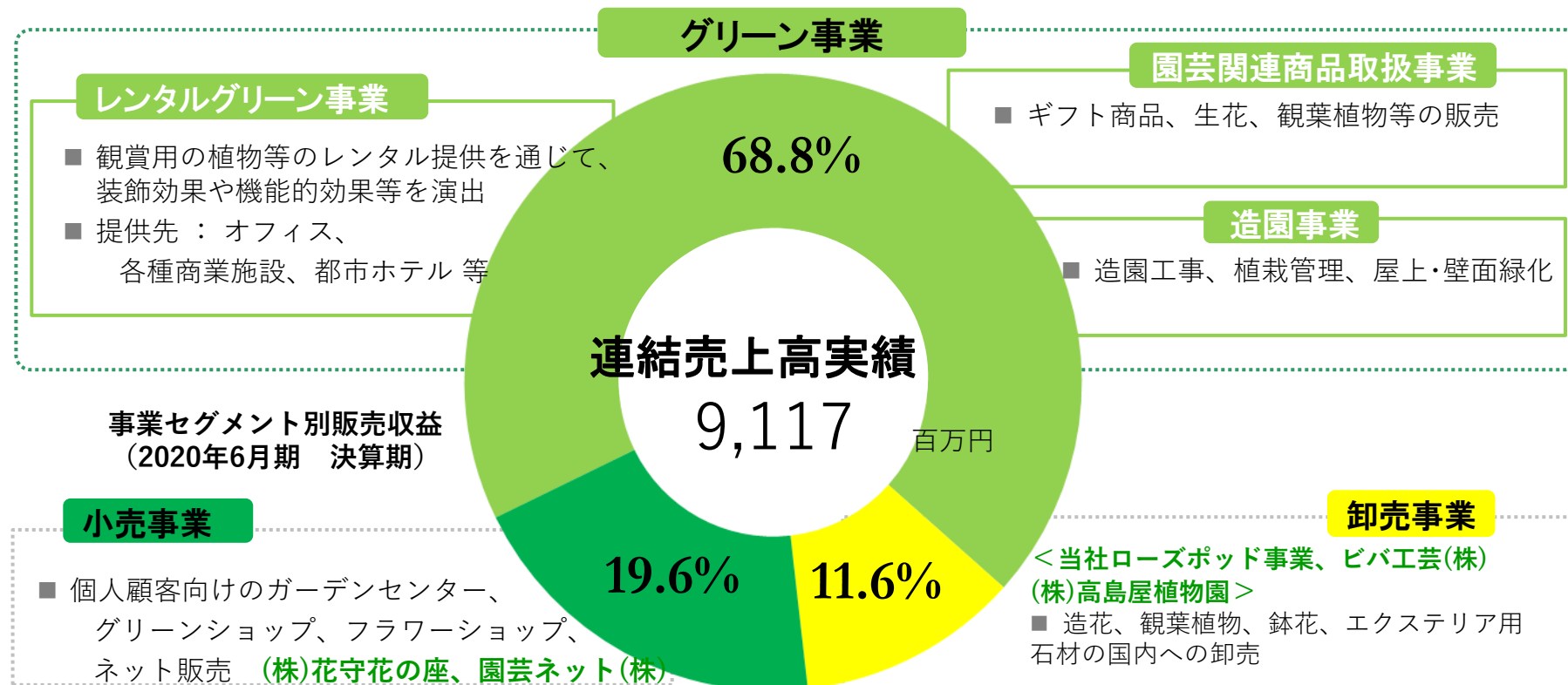
親会社株主に帰属する当期純利益



※第45期の親会社株主に帰属する当期純利益は、米国の税制改革法の成立に伴い米国子会社において、将来の税負担軽減を見込んで貸借対照表に計上していた繰延税金資産を取り崩すことによる税金費用が増加したことにより減少しております(125百万)。

当社グループの事業内容、セグメント売上高

■ グリーン事業が連結売上高の約69%



※円グラフはセグメント間の内部取引高を含めた比率で表示しております。

事業セグメントおよびグリーン事業内訳（エリア別）の状況

事業セグメント

(百万円)

		第46期 (2019/6期)	第47期 (2020/6期)	前期比 (%)
グリーン事業	売上高	6,140	6,463	5.3
	営業利益	825	1,083	31.2
卸売事業	売上高	1,171	1,092	-6.7
	営業利益	104	59	-43.1
小売事業	売上高	1,575	1,838	16.7
	営業利益	-11	-41	—

グリーン事業におけるエリア別内訳

(百万円)

		第46期 (2019/6期)	第47期 (2020/6期)	前期比 (%)
関東エリア	売上高	2,376	2,647	11.4
	営業利益	492	645	31.1
関西エリア	売上高	1,731	1,749	1.0
	営業利益	411	423	2.8
海外エリア	売上高	2,032	2,066	1.7
	営業利益	-78	14	—

- 主力のグリーン事業は米国のローリング・グリーンズ・インク社において最近の新型コロナウイルス感染症拡大の背景による景気低迷の動向を踏まえ、オフィスの閉鎖等の厳しい事業環境であることから今後の事業見通しを勘案し、のれんの一部の減損損失を計上。尚、国内は契約数の増加等によりグリーン事業全体では増収増益
- 卸売事業は販売先の拡大等の営業強化に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症拡大防止による緊急事態宣言により、受注が振るわず減収減益
- 小売事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のテレワーク、外出自粛による個人の植物への需要が高まり増収となったものの、引き続き設備投資の償却負担が回収できなかったこと等によりセグメント損益は損失

※各業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

※セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2020年6月期 決算のトピックス

■ ①新規出店

- ◆ 2019年11月にグランベリーパーク（東京都町田市）内に、グリーンSHOP「the Farm UNIVERSAL」 & カフェ「FARMER'S KITCHEN」がOPENしました。



■ ②the Farm いちご園2号ハウスOPEN

- ◆ 2019年12月に、the Farm UNIVERSAL（大阪府茨木市）内にある、いちご園「Strawberry Farm No.15」の2号ハウスがOPENしました。

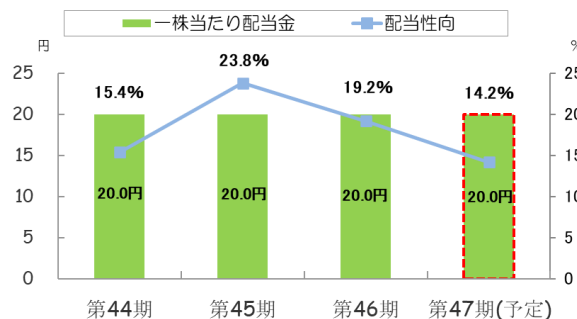


配当について

配当総額の推移

2016年6月期	84,082,425円
2017年6月期	96,092,460円
2018年6月期	96,091,560円
2019年6月期	96,090,320円
2020年6月期	96,088,220円(予定)

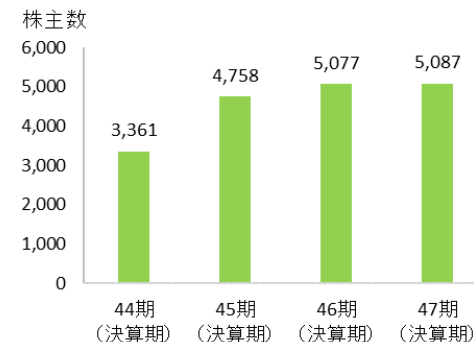
配当金の推移



2017/6期 2018/6期 2019/6期 2020/6期

※一株当たり配当金は分割を考慮した上で、遡及修正しております。

株主数の推移



2017/6期 2018/6期 2019/6期 2020/6期

配当方針

- ・ 内部留保の確保等により財務体質と経営基盤の強化を図るとともに、株主への長期的な利益還元を第一とし、継続的かつ安定的な配当を実施
- ・ 配当水準については、安定的な株主還元を主軸に、利益水準や内部留保の増大にあわせて適宜引き上げを検討

株主優待制度の拡充

基準日	保有株式数	優待内容	発送時期
6月末日	100株以上	当社オリジナルクオカード 1,000円分※	9月下旬
12月末日	100株以上	当社オリジナルクオカード 1,000円分	3月上旬

※新型コロナウイルスによる景気の先行き不透明な経済状況が続いており、全社的な収益体質の維持が必要な状況となっております。そのため2020年6月より、6月30日基準日の当社オリジナルクオカード2,000円分を1,000円分へ変更しました。

財務状況

連結貸借対照表

第46期 決算期(2019/6月末)

(百万円)

流動資産	4,292	流動負債	1,007
(うち手元流動性)	2,886	固定負債	472
固定資産	4,065	負債計	1,480
(うち投資その他資産)	1,419		
		純資産計	6,877
総資産計	8,357	負債・純資産計	8,357

※82.3%



第47期 決算期(2020/6月末)

(百万円)

		前期末比(%)		前期末比(%)	
流動資産	4,857	13.2	流動負債	1,019	1.3
(うち手元流動性)	3,476	20.5	固定負債	521	10.2
固定資産	4,082	0.4	負債計	1,541	4.1
(うち投資その他資産)	1,579	11.3			
			純資産計	7,399	7.6
総資産計	8,940	7.0	負債・純資産計	8,940	7.0

※82.7%

※自己資本比率

※手元流動性は、当社連結貸借対照表の流動資産項目のうち、現金及び預金並びに有価証券の合計額を記載しております。

2021年6月期連結業績予想

業績予想のポイント

- レンタルグリーンへのシェア拡大に注力
- 海外事業の収益改善
- レンタルグリーン事業のお客様よりギフト、ランドスケープ等波及した園芸関連商品の受注拡大
- 経費削減等による収益力強化

(百万円)

	第47期 (2020/6期)		第48期予想 (2021/6期)		
	百分比 (%)		百分比 (%)		前期比 (%)
売上高	9,117	100.0	9,574	100.0	5.0
営業利益	1,126	12.4	1,136	11.9	0.9
経常利益	1,162	12.7	1,234	12.9	6.2
親会社株主に帰属する当期純利益	676	7.4	852	8.9	26.0
1株当たり当期純利益 (円)	140.84		177.53		
1株当たり配当金 (円)	20.00		20.00		

II. 今後の事業戦略

1 グリーン事業の収益基盤の強化

- 多数の幅広い顧客による支持→技術力、サービス力向上
→顧客満足度の向上より企業価値の向上
- レンタルグリーンシェア拡大 →レンタルグリーン市場における当社の国内シェア
・ ・ 推計6%程度※⇒**シェア拡大余地は大きい**

2 M&Aによる業態の拡大

- 相乗効果による事業拡大

3 新商材・販路拡大

- 成熟化市場に対して需要喚起をもたらす新商材やネット通販など新たな手法を導入

4 小売事業へのチャレンジ

- フラワー、ガーデンショップの店舗数を拡大

5 海外事業の展開

※当該推計値は矢野経済研究所「フラワー&グリーン市場に関する調査結果2012」のグリーン市場におけるリース外業408億円に対する、2020年6月期の当社単体売上高における、レンタルグリーン売上高2,593百万円の割合を記載しております。

将来目標

世界一の園芸会社

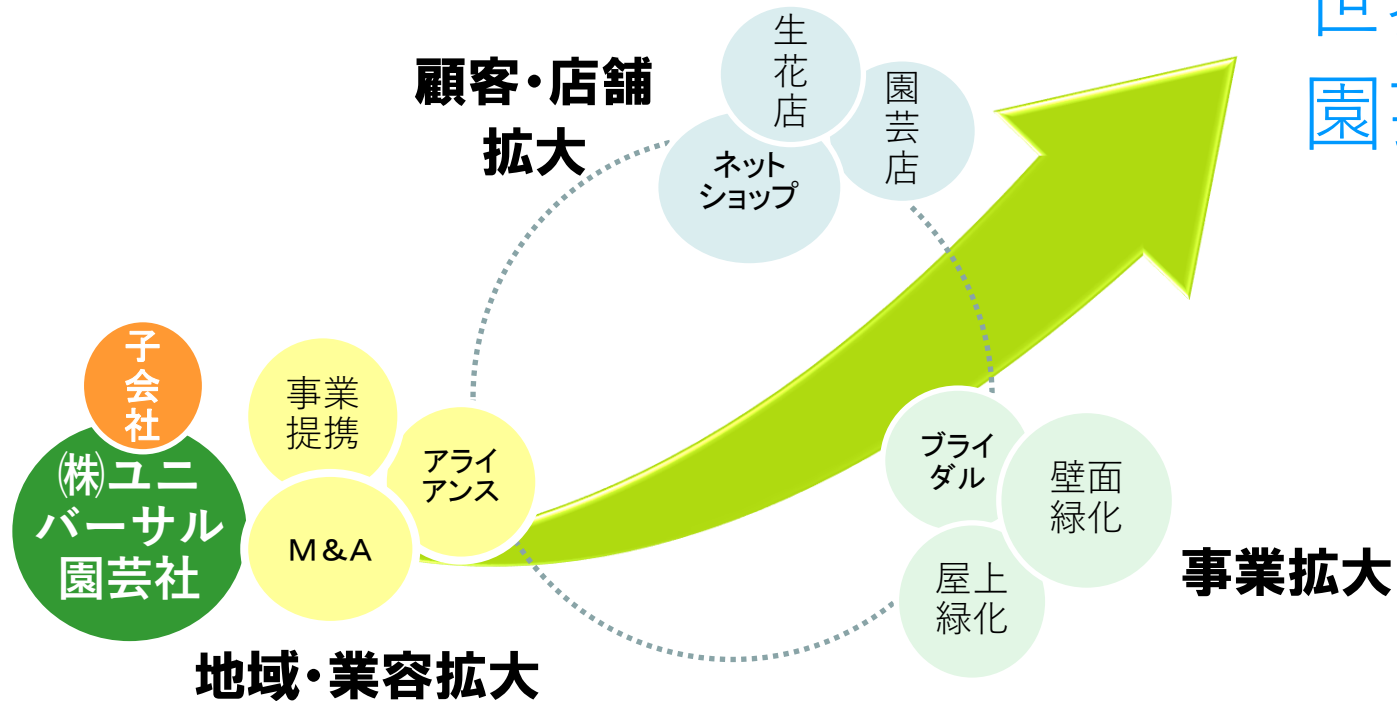
売上

連結売上高 300億円

利益

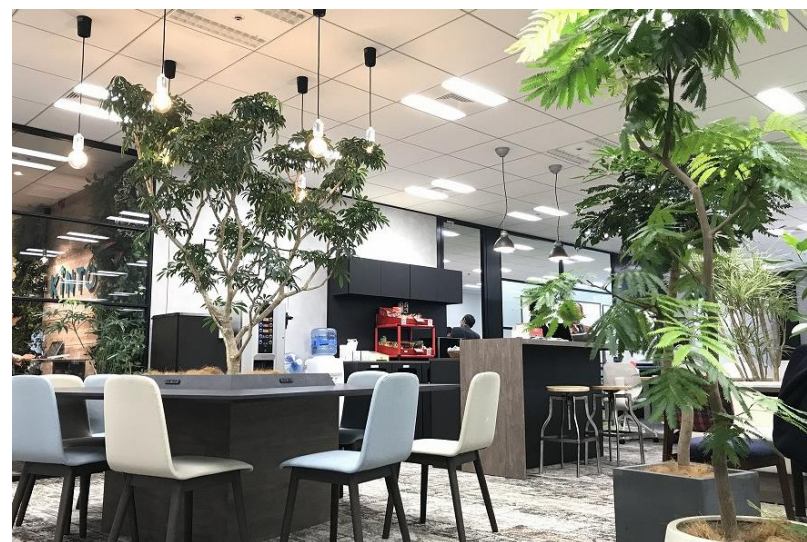
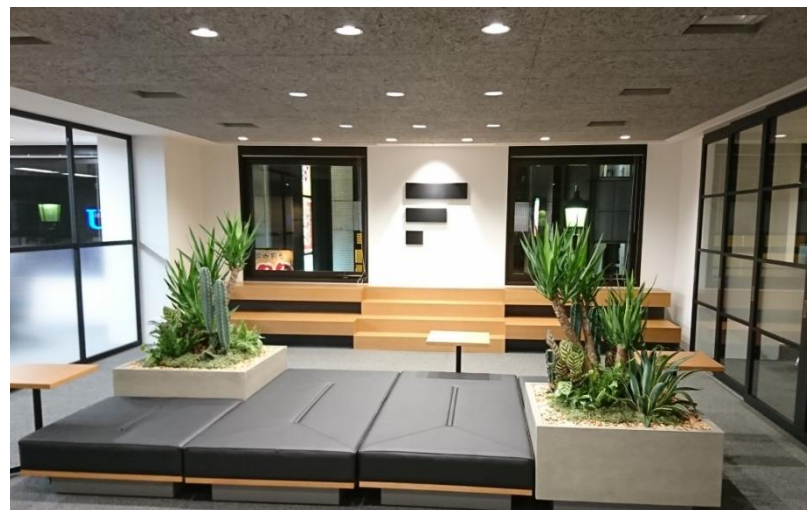
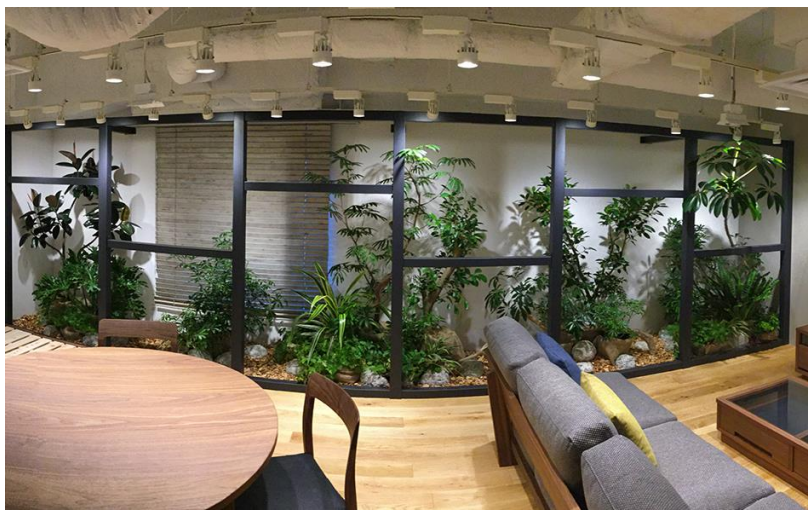
連結経常利益 30億円

事業戦略推進のイメージ



世界一の
園芸会社

セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業（レンタルグリーン） オフィス、エントランス他

セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業（レンタルグリーン）室内壁面装飾、アートフラワー

セグメントごとの納入事例・紹介

2007年12月 上海進出（上海寰球園芸産品租賃有限公司）

2015年4月 ワシントンD.C.進出 ローリング・グリーンズ・インク社を子会社化

2016年2月 セッジフィールド・インテリア・ランドスケープ・インク社より、
2支店を事業譲受

2016年5月 プレミア・プラントスケープス・エルエルシーより、
植物のオフィス向け販売・メンテナンス事業を譲受

2018年6月 シンガポール進出 ミラージュグリーン社を子会社化



グリーン事業（海外エリア 上海/アメリカ/シンガポール）

セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業（外構植栽、屋上緑化、壁面緑化）

セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業（季節商品（クリスマス等）、イベント、ブライダル事業）

セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業(造園事業、ネット事業、ギフト事業)

セグメントごとの納入事例・紹介

■ ガーデンセンター

「the Farm UNIVERSAL」
(ザファームユニバーサル)

- ・大阪本社
- ・千葉



(ザファームユニバーサル 大阪本社)

■ グリーンショップ

「花と緑と雑貨のお店 りこしえ+」

- ・ブランチ神戸学園都市店
- ・イオンモール四條畷店

「the Farm UNIVERSAL」
(ザファームユニバーサル)

- ・グランベリーパーク南町田
(2019年11月OPEN)



(グランベリーパーク南町田店)

■ フラワーショップ

「Fleur Universelle petit」
(フルール ユニヴェセール プティ)

- ・東急プラザ 蒲田店

「Fleur Universelle」
(フルール ユニヴェセール)

- ・広尾店



(広尾店)

■ カフェ

「FARMER'S KITCHEN」
(ファーマーズキッチン)

- ・大阪本社
- ・千葉
- ・グランベリーパーク南町田
(2019年11月OPEN)

「Les Grands Arbres」
(レ・グラン・ザルブル)

- ・広尾店



(ファーマーズキッチン 大阪)

小売事業(the Farm UNIVERSAL / FARMER'S KITCHEN / りこしえ)

セグメントごとの納入事例・紹介



小売事業(花と緑と雑貨のお店 りこしえ+ / Fleur Universelle)

セグメントごとの納入事例・紹介

■ 株式会社小林ナーセリー設立

2020年7月 100%子会社として株式会社小林ナーセリーを設立

事業内容：植木、花卉および種苗の生産、販売

所在地：埼玉県川口市安行（本社）

売上高：2019年7月期 2億4千万円



卸売事業（小林ナーセリー）

セグメントごとの納入事例・紹介

■ 株式会社小林ナーセリー設立

販売先 ホームセンター、園芸店など

主要商品 ブルーベリー 約40万ポット 国内トップシェア

その他 アメリカ産銅葉サルズベリ、アジサイ、ウツギなどの低木、ドリフトローズ、キーウイなどの果樹



本社 集合写真



茨木農場 集合写真

卸売事業(小林ナーセリー)

セグメントごとの納入事例・紹介



造花、光触媒、アレンジフラワーの卸売、装飾ディスプレイからインテリア、ブライダル、ギフトまで
ビバ工芸のアートフラワーは多様なニーズにお応えします。



トップ TOP	商品案内 ITEM INFO	コンセプト CONCEPT	会社案内 PROFILE	リンク LINK	コンタクト CONTACT
------------	-------------------	------------------	-----------------	-------------	------------------

トピックス *Topics* **美しく、可憐に、あざやかに、ナチュラルであれ！**
オリジナルの造花にこだわり続け30余年・・・
ビバ工芸は今も生花越える造花を追い求めています。

1975年の創業以来、ビバ工芸株式会社の造花は「オリジナル」にこだわり続ける造花の卸売、販売メーカーです。

「花のある暮らしのご提案」として、ビバ工芸のウェブサイトは、私たちが創り出す「造花」を主に、光触媒加工、アレンジフラワーの商品情報をご紹介しますとともに、装飾用のディスプレイ素材からブライダル、ギフト用品としての「造花」をご紹介します。

シリーズのご案内 *VIVA Original Series*

2つのシリーズが造花の概念を変えていく!!

- フラワー *Flower*
- グリーン *Green*
- ブーケ *Bouquet*
- アレンジ *Arranging*
- 季節商品 *Season*
- ブライダル *Bridal*



ビバ工芸総合カタログ Vol.46、PDFダウンロード

卸売事業(高島屋植物園、ビバ工芸)

事業拠点

東京・名古屋・大阪の3大都市圏を中心としたサービス提供網を構築



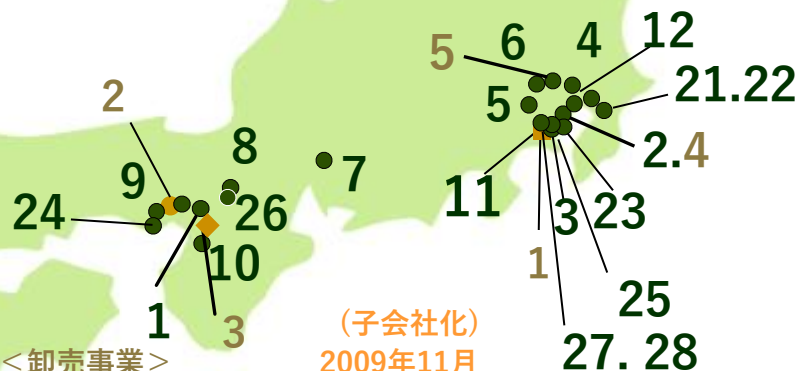
大阪本社

- 1.大阪本社
ザファーム
ファーマーズキッチン

- 2.東京本社
- 3.東京南支店
- 4.東京東支店
- 5.東京西支店
- 6.東京北支店
- 7.名古屋支店
- 8.京滋支店
- 9.神戸支店
- 10.大阪南支店
- 11.横浜支店
- 12.東京中央支店

- 21.ザファーム千葉
- 22.ファーマーズキッチン千葉
- 23.フルール・ユニヴェセール
&レ・グラン・ザルブル (広尾)
- 24.りこしえ ブランチ神戸学園都市店
- 25.フルール・ユニヴェセールプティ (蒲田)
- 26.りこしえイオンモール四條畷店
- 27.ザファーム南町田
- 28.ファーマーズキッチン南町田

個人向け店舗
(1.はガーデンセンター&カフェ)
(23.はフラワーショップ&カフェ)



[海外連結子会社]

- 1.上海寰球園芸産品租賃有限公司<グリーン事業>

(2007年12月設立)

- 2.ローリング・グリーンズ・インク社<グリーン事業>

(2015年4月子会社化)

- 3.ミラージュグリーン社<グリーン事業>

(2018年6月子会社化)

[国内連結子会社]

- 1. ビバ工芸 (株) <卸売事業>
- 2. (株) 花守花の座 <小売事業>
- 3. (株) 高島屋植物園 <卸売事業>
- 4. 園芸ネット (株) <小売事業>
- 5. (株) 小林ナーセリー <卸売事業>

(子会社化)

- 2009年11月
- 2013年 2月
- 2015年 4月
- 2018年 10月
- 2020年 7月



東京本社

注意事項

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ユニバーサル園芸社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、2020年8月20日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 投資に際しての最終的なご判断は、投資家ご自身がなさるよう、宜しくお願い致します。